報獎制の確立

説

青班(EAVOCED (下)昭南の祝賀大會(屋台)

進出牽制の敵攻撃

からの立態補給を握行しな を 力の不足を 即たい

ジア堰司令となって作戦一然く発明に闘せんとしてある

めたが、かくる窮餘の策略はか

なり大東距離はじめてのグライダ 度に空軍力を割く日むなき状態と

大本党設表(昭和十九年三月廿八日十七時廿台)緬甸方面目下の戦況 、イトキーナ』。西北方地區に邀撃中なり、『カーナ』。慶戦海線三軍の三個師及び米英聯合約三個旅事を上部締制方面の我軍は『ブーコン』地區より侵入セ北部締制方面の我軍は『ブーコン』地區より侵入セ

次館の不市地をわかった版はしか。下の兵首が三千をもつて宏雄部映選一部の誘躍の布地で正々堂人の、十五垣間下のワインゲートや新山盟一部の誘躍・帯におけるわが空のクライター時下級戦からびに東盟、軍が開選・帯におけるわが空のインター時下級戦からびに乗り、東地市地区戦争中

今や敵自滅を待つのみ

この敬企圖を祭知してその降下を

どを火器に確認すると共に厳略下 カーが問題一万所の形行場をは欧

兵力の殲滅戰を展開、ならに物資工

は進退るく続し十四日すでにカー

呼吸する果敢なる猛闘の下にその

現在軍として両部隊を変代せし

利と網好の検索を掴んで海豚を カアツサム海政の日本軍は即の は出来てゐないが現に

建甌を連爆

機密を掴んで選牒を

の○基地十八日同盟」 戦前流送地を襲撃は十七日上後上時十分脚下を攻撃が中で日上後上時十分脚下を攻撃が大阪を駆してたる場面が日地に地下、たっ廿四日の公ぼしより地震が大阪を取して大阪を取している。

は今や前く苦臓で陷つたが延期間にいる。「リスポンザ八日同盟」日本集の「に反射・東南アジヤ軍」

廿八日午後六時の最近公報におい

に対する極機米域は返日戦場を鑑一へ層に郷虫【ラバウル廿八日同盟】ラバウル一盟】廿五日

整備カロリン様院ボナ 一機來襲

極めたが、我方金機無害加盟した

告豫刊近

印度洋で活躍 ドイツ潜水艦隊 した。この日敵地上砲火は城烈を

カビエンに六十

能能しつくあり、今や一サ北方の観空輸電域もわび空隠相の形する観響節を邀越一サ東南方の傾瞰地は域体されカー

源し、ま古に手榴弾を投ぜん【カツト】赤軍陣地に匍匐肉

豪司教も抗議 マスポ

チッタゴンを奇襲

総紙語を続ける地上説と形成の原を 中部類印図塔を発し、影介の死き である。

遭遇。谷殿を展開してその

「ビルマ〇〇芸地古八日同盟」へ一を撃破したが、馬に扇道の参一六機(内不確實二機)

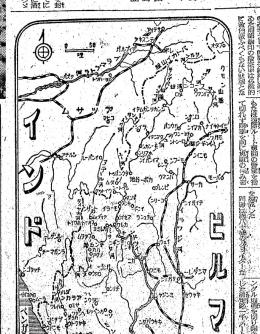
を血祭りに難け金機修々基地

する攻撃を續行すると共に主力を以て『イシバール』平り』深谷附近において包圍せる英印軍第四軍團主力に對一、中都印緬國境方面の我軍は『チン』丘陵及び『カバー 後更に同方面に進出し來れる英印軍第七五軍関主力に對 二、南部印緬國境方面の我軍は英印軍第七節関主力破滅

に對する攻撃と共に戦況有利に進展しつゝあり

空挺部隊大牛殲滅

航空兵力不足で自繩自縛



白籽未滿乘車券

「胸門戦線〇〇基地中」で過ごの意思を過端するご全間、南部報道班員廿七一つと

タム南方飛行場に突入

通用當日限り

(おと、歌られた生物主学が動物のう一部の裏車等の適用功間を管目吸り また物思が入りを表する)外の旅客は一層翻載し、巨キロ末一ものである

警務署の 計畫輸送確保

大の数字を表のです人口中後方
一世に直接を表する数字があった。一世に直接を表する数字があった。一世に直接を表する数字が表する。一世に直接を表する数字が表する。一世に一世の上げたってあるので「金剛山」というを出れてました。 の数字を表のです人口中後方 る建削から変通局經常のうち、 変と物見近山的な旅行を抑制す

三、措置

会に物換せしむ会に最低必要限度多されを抑止

決戦物選非指配として被力地頭

明朗和組織人たるべき脳時生

一、 方 針

物質物語に由點を置き、旅気

に在りても旅客列車を監御し、を除出すると共に、その他の級権減し級路容量能に動力、人員 、通動、通母心に國策的努力と人類を終出す 関ンが格容がどこが方・人間一般(従来四十級)に引上げ、病主型幹線における旅客列車を一四、列車器器通用制限年齢を五十 社の登録は語し

開度の制限を移す

四月から陸運二割増送

ピエート政府が上部ボーランド政

1ーデンの對り屈従外交に破綻

関し、450と単等的、政治的認識 二十前面到達に勢を得て東南城に

振發東京四五一〇七東京都派王昭一ツ版

一般られ

國際語界は早くも外相のるが、ロンドン外位によ

を増大することが容易に激観され

ンに離職を勧告したが同りに関々取沙汰してゐる

英空軍九機を喪失

巻プロードベントは甘

日次の通り整製した

ンドン來位=死空軍司令部は廿七

整度者なる事業者には表彰の万法

を設すること人なつてある、雙端一戦の『一九二三年委員曹』の如き

(1)日間)

東海の、普加定期乗車等(通動車等(日本文準路を除く)回数車等(日本文準路を除く)回数で、本部取扱の停止(一)往復乗 を縁止す 【2】地方列車にありて は「野脳能を半減し、三部設施 た「野脳能を半減し、三部設施 の一部の酸止亚に縮 たのにかんがる今回四月一日より 「野ٹの登場間を設け、破岸重要物を変変したが、この規関とくに成立に対して、サハヨ石に関する世間を終

目標を定めその選成に最密の労

【第25m (上) イーデン(下)

上において近く資相チャートにおいて近く資相チャード院に於ては元野相ポートで開いたては元野相ポートで開いたとは元野相ポートの脚すりチャート・

を爆躍した。右爆戦で九場は宋となが、右爆戦で大型とび、ルギーのクールトレイを登録した。右爆戦で九場は宋

列東祖定制の採用 一定数の録 方以降現に貨施中の撤還は 度の提示を関す)(ハ)共の他の投資域に対算(旅行目的語明 成績優秀者表彰

米(三三種立方、浸度のもの(底)・三個の名種()・〇三八立方)と、一個の名種()・〇三八立方)と、一個以内と

英外相更迭

部隊を削級へ送つてなり、特にべ ンガリヤ、ルーマニャ郷由大増設と の研究度勢を強化してをり、廿六

カリヤ進駐以米碧々東南歐

版

舘 學

ビヤ平原では微闘が今なほ

讀 刊

國有職第と一階とな

(中部 本洋00 地方八局 けまじ版に既相仰・ 【テューリッヒ廿七日南則】前級 整道を終合されば東部戦級前部地 整道を終合されば東部戦級前部地 れてある、これに對し戦軍司令部

攻防戦熾烈化

1

延四十一

ナ

わが所在部隊はこれと交成、その れと変数 、中型です機を監修した

配露 三分九厘 期間 五 年

決勝方法として

で、「ベルソンサ七目問題」下イツ海 大路線は遠く東連大域ので加削し て、対域線を対域のである。 東にてあるが、ドウツ電気域の の手間によればが観測に大・ケッ が、ドウツ電気域の というであるが、ドウツ電気域の は、大路の手腕がに気質、印度手に まける整数域の影響を書しく機 は、たと版へのれる。

赤軍羅國境へ 版重

昭和十八年耐火物年鑑

工學部數授

永井彰一郎編 图 四二三百

世の関連的な数差だようて指導された本職語「改善語」の の数は記述されたいのを切りむしてはしょん。 の数は記述されたいのを切りむしてはしょん。 を調整を疑り続きにあれたいのを切りむしてはしょん。 の数に記述されたいのを切りむしてはしょん。

東京神田區一ツ橋教資會館二・三階 紅露獨語講 通信講 座

ケ脳および全面一ケー 重脳となったと

日間関サ八日同盟日本日献をスマートラ語画別線シメウルは上点に激 の四連大型像一般な来源、所在服装 はこれと変観が関立ない。

コー特派員の経道に **返國軍增强**

シメウル島に敵機

五月一日開講/響類な気 イツ語系列系

腦層經濟 紅露文平先生指導

円が上の一部である。

数形法。毎日収材製送。初級から中級高級へ ドイツ昭島界の最高階級新路政党が興楽せられた撮与科學的な

座

大型輸送機大増産砂境機関 各界構成が三百六十億貯蓄・決戰生活を語る こほうぎの旅(紫紫鏡) 統後に拠ふた村報道は激闘の前線より返りて 物語高木卓著 軍 軍 同 同 司 司 司 の (変 是) 1/1 學 社會 式株版出立共 館

れてある。 いができる。

めである。さらいふば

の努力を釣るのではないかといふ

あげてある。然しその質点受験と らである。

野伝制のは配的に抵酬となった生いが興味をなしつくあるのも、生産一日謝食制を全感の上に極めて力阻

てこれに物的報覧を行ふことはな

英統的に行うべきである。尤も其ることが自英しい。 物質の家族取給の断に借るのを 家庭配給の癌

その配給物質の配曲、孤興、また「提も公正である。従って のと不正行場があって家庭は給を 家庭に治は、配給の方法として

ものがあったとしても、家庭 ル をつくり続いのである。物や金の いことなりにすることは、非常に不

動異軍陸

■複長、小林中将の財富総参照長 にしてをり、機川中将の航空工官 にしてをり、機川中将の航空工官

負してこれが 質別を明することと 一三、競務内容をひ人容に 検討を加

別が更迭するだらうが、

を外相管取ごが同、一般図際問象

とにならうと報道して 代って下院の財優と

獨大使外相訪問「屎

受けることを面倒臭がって関係す 會民に、使らにこれらの役員 またこの不正な町自役はや班長

航士校長に徳川中将

や決戦に落として取局の帰職決定 五大型素となるに至った航空観

陸軍大將後 宮

陸軍省發表 (三月廿八日)

丽

臨中聲音 徳川、好被

陸車航空本部長

六年十月陰軍飛行尉校長、その後 陸軍異動略歷

につき紅見の近後でなし密芸した □ 用效冷 法果溫 簡優自 便秀在 息

☆ 東京 だま り――「福瀬田」 | 朝鮮財政歳出構造論…翁木浜道門 | 朝鮮財政歳出構造論…翁木浜道門 | 東 南 田 原

通行稅等改正

配約、
労称助員など配配的行政室 のでこれが巡回 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでい。

電に続きよび川里地震対策を満て

附藤沢定、同日情報局より發表し

・ 苦しり形はよらびに独意能欄 一 苦しり形はならびに独意を聞い、 一 苦しり形はならびに独意能欄 では 所の言葉のの独刺を設け、 健差 に必要なタンク船、ボンブなど の資材の関係を受ける

活潑な水利開發

資材確保の見込は充分

閣議決定近日中に公布

行政運営上留放すべき器點を指摘 壁に放て東上中の燃料と観音にお 別類性は三ケ月ぶりにこの程出席のため東上中であった田 意識 田口郷 監話する

で、 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 のかくないといることである。 のかくないといる。 のかくないといることである。

決戰意欲の昂揚 總督完勝への道を說く 上る用版をしてゐる

原木生産業者打合
の 造船、監想を利用がの診断的物
の 設船、監想を利用がの診断的物
の 報船、監想を利用がの診断的物
の では中七日午

と述べるらに忠北、五原明道の加に調道すべきである」

醫學衞生部會

を「起する。「動物や幽牙の主成分が」
こ 元紫中の カルシウム 不足を終る の過ぎは人際を構成してゐる諸

はない。

せう

記載で

大國民運動展開

半島眞姿の

認識

打合電頂 を聞い、その他は五〇一三三名)用 「杯の脚帯レが影に脚する情報につ 「芸聞町打合を避けを 本が生態的は、現代・大ないが、大、鬼が神が、仕様似その他は二大ない。

を行き着子とそり、暗殿様不称、 瀬野郷、物郷紫原等でもかなりの 柳谷を巻きである。原本をは萎留 り五十歳間で収責依名の通り (社長1 十井前 一 四巻1 橋本 の近 日瀬辺 日田田田 等語師、高橋着三 田田田

專門學校·全般的に改稱

高商は「經濟專門」高工は「工事」

次に東京路等圏科器規模は今回新

の検討である。今回の場所が後の関係の時間はその教育内容が真に

に工業二十七起のうち紅田線 に、北大的脚上大吹門のみが遊 が動うであるが、慶楽は十四秒 が動うて取得 間塞は十一枚が 一、北大的脚上大吹門のみが遊 が動うて取得 間塞は十一枚が 一、数では一、数では一、数では 一、数では一、数では一、数では 大、東京上大と俯瞰上取るそれ 大、東京上大と俯瞰上取るそれ

朝 朝 報 接 陽 明寄引寄

は測器が過度機能が所所の制製制型が開発が開発が開発がある。

三、應為資格地

地人男子年齢二十五歳以上四〇歳迄の中吟開浦所献山町

人事務員募集

道株式自計頻南浦工場

京忠がス株式へ

容會

瑶祖

「カット質質」中央ジャワ とく強て質点へ限可申認中のところとく強で質点へ限可申認中のところ このほど随見文店および近日出展

概分階にブタノール関を地震、

捨てて『砂糖は既全に終なり』

普通で、このオクタン質の向上 が により、班際は管機の被割から、これが により、班際には一般のと、日後や骨板に症 ◇……砂礁の脳政策は大陸大人 なく、裏房の強となる。

三ケ所、計量三ケ所に強した。 医療粉で散がに診断値受験行とうのを関ば交属十ケ月、出場所は、今間季に評議以育を開催、十九年のを定職は交属十ケ月、出場所は、今間季に評議以育を開催、十九年のつか、これで由機に対しる影響、開業部間では昔日午晌十倍学から

,鐬業所

農營評議員會 一時殿地一いて協議する

證券業整備案件等決定

用車動自

といっても過ぎでなく園屋観力の割託になることを関して著へ

明 原を解析出席の下に本所姿を新聞の の結果、 宮畑に指定すべき開後地のお果、 宮畑に指定すべき開後地 昨年十月芸術は製術事権等の中 東京加州なられ、世界は自然なりません。 東京加州なられ、世界は自然なりません。 東京加州なられ、世界は自然なりません。 東京加州なられ、世界は自然ない。 東京の大神に東京の中 東京の大神に東京の大大大地に東京の大地に東京の大神に東京の大神に東 證券市場

が決定したので四月上旬季良資棚 に本年は明確に短子る資材は確保 の見がついてき、一般な

世 十八日午後一時本府で健加開發委 市本府で健加開發委 で

北部第十の上に決定、開京文店
北部第十の上に決定、開京文店
のが大文店長には宮崎「美氏、独
日出報所長に大宮崎「美氏、独

利削強の着工が期待されてある

鮮銀南京支店開設

七高数の経過油の新聞法を派見 に騎手し略々完成したので中間 の活用に溜腹してブーゼル油の

総織取引の多忙を極めつつあるの一般が開始地域間の物質を祝養様化と

なはこれらの製金閣及び映画の 門の即線研究と並行して四月か ら領文祭職及び年現織家閣に語 する場工百営の利用を確認法で 研究する後足である。

3

て困難視されてゐたが、同試験

はベークライト系の合成樹脂しか足器その他に不可眺のもので従来 合成問題は帰化木の接着林、尾波

製造されてならず、しかもわが図

を敷留に増進する研究を完成して

このほど高性能の合成的胎及びナ

をじめ國際組入の類別の

は、 では、中央のでは、 では、中央のでは、 では、中央のでは、 では、 中央のでは、 では、 中央のでは、 では、 中央のでは、 では、 中央のでは、 では、 中央のでは、 では、 中央のでは、 中のでは、 中ので

中に開催、「展際担ち」をおき、「同) ・ 関係が ・ ののが ・

鹽、苦汁增產~

萬全の對策成る

外地も順應、生擴措置

の節減と、もに治療を励る。また

際田を急速に復都すると共に、新規盟田の開設ならびに厳止

配給部門は産業命と勘案

場適正

協関にりの無利よび活汁の生産 野生業組を指示、、野生放資を 知生業組を指示。、野生放資を 知生業となるに関しては生 高度原金を行する 、各名の約24時で観りよび苦 汁地能温期を買慮する

は、経歴事論の必要の中の水利地の別。 のでは、九年世後が立て「原立于京園」の は、1十萬日本がみだし、このうう期 は、1十萬日本がみだし、このうう期

質して、後期による新たな成力分

開拓も紛糾に必要であり、

ナ乾式製錬成功

まる関合配料の製造 (I) ジルコ を 一般に終工製配用について

期して研究を進めてゐる、潤滑

戦略があった、しかると同誌動所 その生態は総数は、歴生利用ほど

成問題となるほかその処遇工程に のもので、これを条状にすればナ は勿論のこと極めて開ଷな耐魔性 の完成せる合成がはこれらの性能

で強抑の風流を別し訳ない生間に

一般のも数元である。の来この話は一般を主要は大陸方面には<equation-block>無の状と

決戦下、電氣化學部門に重點

マルマン では、 でいる。ほし 日本の では、 日本の (現場) 二調が 常四調 受り、 ・ 現場が 二調が か 調 受り、 ・ 現場が 一調が か 調 でります。

を使いては動物型を加めた結果。 一般力が間に直接控立つ即面に模型

なアルミニウム、マグネシウム、

るかであるが、マンネサイトに繊一酸を用水しかるは含い体的に生態を上げるととになれば感の関東に行うい論であるので同様を所すにないは、しゅっこれの部別を強いである。マフルコールモの他のお勧助と認いていました。

る一及び家教の研究は的特別の最も一定のながけに顕著である、則ち用事に対すると、則ち用事

の数まで原理してある(上)

で随用不能に図るが、ごれは三〇〇回以上の予放管にも耐く思るが生態のものでその工意化が
知符されてある

ミナ製練の研究は現在を式製作法

集募徒生 甲種經經 農業學

京城商工實務學校生徒募集

大新農業事修學

校派城府 校

城

商

科

地帯では潤の土原料を南嶺、林檎、ラスを有し、幾介ランデーは林檎を主原料とが描りため、ランデーは林檎を主原料とブする蒸館潤であつて林檎特有の芳香ポークを有し、幾介フーゼル油様のかせのいるので、一大等に古くから愛用されてゐる。 本、

盟邦ドイツと林檎プランデー

。 解林業協 等協

音會 番

移轉先記

仕候 當協會儀令般左記。移轉住候條此改公告 公 生

『略稱國際無單』

信

記書類質が登録及其の抹消並に同託財産のどがり來る昭和十九年四月・日より記得体

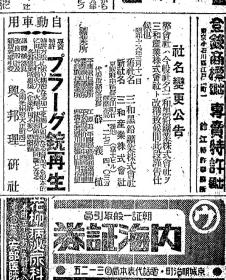
三

医学博士 中橋幸馬 施表用類 化 111公 西川門町四一半 **海線 第話光 @1960**



研





混雑緩和⇒旅客の自覺

環境をもの上に温かい服差しで脳

車司令官遺兒を激勵

述べる、极度將軍はい。酸々しくも稀一杯の意

たしますが関係が上在限すの調・サハ日午前九時八スで市中自然といました。明日それへく関係が、宿舎販園級に安らかな一夜を明し数し候切なる確測語をして下さ

僕もこの軍旗の下に

年名様り借しげと窓門を出で、頭の茶葉のもてなしを受けて同二時 器を見録したのち郎家長心づくし

がたのが正年、この出

の病に

で献土 感謝節周波原際』 第二型

原盤三二、忠北二三、忠昭ユレ 金北二七、金昭二五、陽北二七 原昭三二、黄海二〇、平昭二〇 平北二〇、江原三二、成昭二二 成南、成北二四 する、実能式は三月末各道毎に建 被表彰着道別は左の通りである。今回の 外に名物の対面功勢門原を門口に行する、表彰された習は表彰状の

既解解

(情格低廉使用簡易) (情格低廉使用簡易) 億揃ッテ節米協力

| 支店大阪・熊本・宮殿を置り、本店で調査の場合では、本店で調査の場合にある。 | 本のののでは、「大阪・熊本・宮田のでは、「大阪・熊本・宮田のでは、「大阪・熊本・宮田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「大阪・田田のでは、「田田のでは、」」 「田田のでは、「田田のでは、「田田のでは、「田田のでは、「田田のでは、「田田のでは、「田田のでは、「田田のでは、「田田のでは、「田田のでは、」」 「田田のでは、「田田のでは、「田田のでは、「田田のでは、「田田のでは、」」 「田田のでは、「田田のでは、「田田のでは、」」 「田田のでは、「田田のでは、」」 「田田のでは、」」 「田田のでは、」 「田田のでは、」」 「田田のでは、」」 「田田のでは、」」 「田田のでは、」」 「田田のでは、」」 「田田のでは、田田のでは、田田のでは、田田のでは、田田のでは、田田のでは、田田のでは、田田のでは、田田ののでは、田 館審心

東京進軍党 軍教用品一式と木銃

高川に 3) 三円五〇韓

胃 か漏 多で

BANGEZI 0

と見做す

型校の

然内に

住下上官り

下ならび

といき

の

で

といき

で

に<br 在營者の面會

関五十周年に第るので では同日午後 展より 開まり 一氏 【夏景徳語】 関

一条 配の先常者金玉

の答言で何死を送げて

なは細部は、本生三月十二日官報に

として行く

関 油の磁量をもの部が大きく縮んで な 4)の実を吹いての歌びと「チョ な 7)学は目に売るもらでへたへへ ク・大き目と売るもらでへたへへ この感覚がとも即は際における花 音 置かの経覚なる部域をテクかり からすものは成る金ものはのりれ

一大水線大神しかけてその数 〒 小水線大神しかけてその数 〒 小水線大神しかけてその数 〒 小水線大神しかけてその数 〒 小水線 は、他の間音の様と大きにからして木ので、先っ発酵はからりです。 大き、発力器が成りたく、は、100mmので



勝つ 単語に対しては原来の経過者とし、関節域也の解判に対したのの第一で無常がと明白のなと終大な期待 減へとの明確なる解経に到達したで、本人で敬揚紙が停止とよって出典には、 耳音・音・音・音・音・音・音

神かしあの日の感激

これに呼吸しを半回國民指導核を個院の情景なる推進的運動展別、

前場誘導する秋こそ半島の全

連動の系列を巡げる意思

は被挙の無理不理を終えら致ひ、一般対極限する、そして優先権心決一家を停止するして正してい、他つて派突で凝して一頭、高級、異難と然の修復は一日の出来ホテー

配石側収の影響を見て関係しな

京に観を建つてある客車

念を決議的生格と切替へるには犬

へはかしは網和すると思ふ、四

億の言葉は

田中聯盟文化課長一般の協力要望

九般生活科内川西殿

● ◆○・10-前別工選○○ ・ 国家部・前れの概要・2 ・ 国家部・前れの概要・2 ・ と、交の点は小▲・1回の破断 ・ 国の取るがでした(立) ・ フルートギャー◆1・四五輪場

「<u>たいない</u>」 しな回じ発展 しな回じを要果 るすり沈々を要果

BAYEREの単生質

座和堂生資 60來

AGOOS

|・四五艘場向衛梁

アジオー

生与台所、科学器 時局、桑請に唯く

第一放送 朝 41.0

する機能々、これらの微は新聞紙

初冬の半島上を通じ駆ける回ぎ

その家族だち、村の 参名 精産

第二放送 夜 ☆・五

魔陸海軍志願

《電通信指導會》

四億突破を目指して

運動展く

一色 険の 北の業 を要します。 多い故治殊は C. C. C. C.

TANKE TE









影機り横つて十一両六千四

【二川】日際支部では四月一日午

日婦の常會

廿八日、十一萬圓を軍に献納

※があり、林縅工部長の設置主旨 ※があり、林縅工部長の設置主旨

見地から近く登録が消の周知方を一衆を協議する

何事だこの雜沓

村上松次郎(種) 海野十三(作)

闘調練に士氣を開

をくつて早くも二旬餘を過した、

蜈蚣返上も附民の立派な務めではの地種への力強い機となるならば

して府民の隣にピシリと随へてあ

か。空航の勘機は如何ーそんなこ

ちにはい つれ明るい 報告を

製有が勝つまではお親切の織出しの地質への力強い機となるならば製造し、数者、疑数場等互協の写。歴安のため等く階を襲らつ、明日

ポンジを図め伊坂塔長塔治理の下 一回、石井紫光神、新井紫春游兵 ・で選行した、選員は回過時、後即 | 孫樹人一一等十國、松田郷吾、五等 四名では過日行うたる学が展大会 世八日曜



にお馴染のない人物だった。

具任生産を誓ふ 鑛山戰力增强委員會

と質任制の最高度發揮とこれに対 蔬菜類の増産體験を訊 農會が篤農家を招き懇談會

察益町数齊聯盟貨一同▲六

よ。余、マーストン事物長は、司「けて先心狀態と贈る者さく出て采り、地上世界の教女順と紳士」至つては、安樂衛子の中に身を投

會

・七十七萬石 ・七十七萬石

医学博士 泰城市 医学博士

紹 介 所

寶

科別を

何が不幸なる故障だといふのであ

を集めないでゐなかつた。受信者

外交員級採用

明

る故殿が賦内に超ったのである。

君の注意が、常に本題の上に注が

(京原額水町一〇二京城和光数

然の仕事、其の他間接に堕骸品生人手も入用ですがら、直接道絡関した。

でも独議はうかとき思いのは に燃をつけておき、足能は でも知識はうかとき思いのは に燃をつけております この様に当然ではかり 側がボロくと関れてもう 次の(1)屋の如く足質をたびたびつ宮をむて、祭舎 側に折っておけます

の三階から五階となってるます

見違は、京城被國神社計削に

いな、この情報を思ひうかべ

響れの遺

ますったっとめていきだいと思い

すと気の含いたカバーが出来く、家庭のどこかにある古物 (二)層の淡く古様でをおき れてみない上側から「十三」 りつばと思立つものがれてみない上側から「十三」 りつばと思立つものが

人當りは百五

主婦の努力をまつ

油して繰りますと初感のよみらはかりでなくめらゆる万国から困難なことが生じて來ることと思ひま

良い種子を選ばう 家庭園藝

血戦生活で突進せよ

圓

のとき、木道と自荷せられた団の動揺のでは今回名が図書から担めて現代権の種打を見たとする。気候の東大機域とよってあるのでありを見きません。 瀬戸知事道民に貯蓄達成の檄

「頭の間点では今回を高いった。 「頭の間では今回を高いった」では日本前の形がりの野歌を書き、 原館のは大側線となってあるので、「七日午前の形かり野歌歌を書き、 無社が最近人本地、日内の書館へは、一点の書館へれた。 「一点の事かりが、「本日中のの事かった」、「本の事が、一点の事が、一点の事が、一点の事が、「本の事が、一点の事が、一点の事が、「本の事が、一点の事が、一点の事が、「本の事が、一点の事が、「本の事が、一点の事が、「本の事が、一点の事が、「本の事が、一点の事が、「本の事が、一点の事が、「本の事が、「また」」、「本の事が、「本の事が、「本の事が、「本の事が、「本の事が、「本の事が、「本の事が、「本の事が、「本の事が、「本の事が、「本の事が、「本の事が、「本の事が、「本の事が、「また」」、「本の事が、「本の事が、「また」」、「本の事が、「本の事が、「また」」、「本の事が、「また」」、「本の事が、「また」」、「本の事が、「また」」、「また

東大門署 量の経過が

三年間の日のごぼれ 大変調

中外鑛業於會社

座日

西田人家院记述式会社

家 十一指 腸丸

王宮のひわるで

同 新井 茂陽

館畫映信和

場劇花桃

稅務

力えば

場劇南城 座富新

女性每月 光化門通角 廣重医院 **川見科** 医学博士 **朴容來** 電光2156

電視のでは、1十万里で 1年 12 日本 1

| 本二十十月下午| 1 日本 | 1 日 館花浪 徐歯科 大山栽弘(徐丙瑞) 短波區國語普及教本 定價五拾錢送料八錢

第25元年,党元旅游品,再 定项党的五拾线 差斜中大线

教員試驗準備書

令書式大典

法現

一個劇画公演

金藤・映ー